



http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/

【新区長挨拶】 手塚隆行

「平成二十四年度通常総会が開催」
去る四月二日出席一六四名、委任状九六二通で牛頸区通常総会が開催されました。

今年四月一日に若草区が分区とされていますが、今年度総会はまだ若草区の方も参加され、(平成二十三年度区事業報告、(一)一般会計決算報告、(二)特別会計決算報告および会計監査報告、(三)説明を受け質疑応答がなされ審議の結果原案のとおり可決承認されました。

次に「若草区分区に伴う会計分与」について説明があり、分与の方法は平野台区分区の前例を参考に計算され、分与金は四百三十万円となることを評議員会に諮問の結果承認を得たので総会の承認を求めるとの説明があり、質疑応答を受け賛成多数で可決されました。

ここで若草区関連議案はすべて終了し、若草区の方は退席となりました。牛頸区は三月末で約3000世帯であったが、若草区分区により今年度から1750世帯でのスタートとなります。

引き続き「牛頸区規約改正」についての提案説明があり、若草区分区に伴い、(一)幹事の定数を2名にする、(二)評議員の定数を20名以内を15名以内とする、(三)監査委員は監査

結果については通常総会に報告しなければなりません。以上3点について、いずれも可決されました。なお牛頸区規約は後日全世帯に配布されます。次に平成二十四年度の「役員選任」について

執行部は区長に手塚隆行、主事に高田隆敏氏、会計に村上辰生氏、幹事に篠原義貴氏・田中英明氏が承認されました。また監査委員に川辺政則氏・角敬之氏が選任されました。牛頸区評議員には12名が選任され会長に山上輝清氏が互選により決定しました。

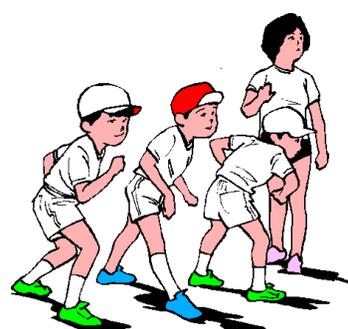
平成二十四年度「一般会計予算案」の説明があり、歳入では若草区分区により区費が約34%の減、全会計で21%の減の1438万円となります。歳出では区民の皆様の御理解を頂

きながら執行していきますとのこと可決されました。執行部も新人ばかりですが、牛頸区の発展のため一生懸命に業務執行に努めますので区民の皆様方のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



【五月の主な行事予定】

- 九日 子育てサロン
- 十日 食生活推進会
- 牛頸教室開講式
- 二二日 体育係全体会議
- 二〇日 クリーンシティ
- おおのじょう
- 二二日 足元気教室
- 二七日 牛頸区・若草区・平野小合同運動会
- 六月二日 隣組長会



5月27日合同運動会を区民一同盛り上げましょう

【お知らせ】
第四分団に新しい消防車が入りました。



スエちゃん

牛頸ばなし

第六十四回 牛頸村の水車・その一

昔、牛頸村にも水車が回っていました。ゴットン、ゴットン、ザー・・・静かな里山の風に乗って、のんびりした水車の音が聞こえていたのでしょうね。水車は電気のなかった時代に自然の力を利用した大事な動力でした。米を搗いたり、小麦をすって粉にしたりと。明治一三年(一八八〇年)福岡県が県下全町村の実勢を調べて作った「福岡県地理全誌」を見ると、牛頸村には四カ所水車があると記載されています。面白いことに項目は「車輪」とあって「水車四所、井出・中通り・花無尾・月ノ浦」と書かれています。その頃、一二九個の村に四つも水車があったとはかなり利用度が高かったということですね。以下私が調べ、取材したものをまとめました。

①井出の水車・・・牛頸ダム手前、浄水場の向かい側の一の井出の下流、クレストハイツミのそばに昭和の頃まであったようですね。近くの方に尋ねると「ワラ葺きの水車小屋と石垣が残っていたそうです。その時の水車を回す「捨て水」の水路が山の裾に今も残っているとか。経営者は手塚定次郎さん。近くの手塚正一さん方にそこで使っていた大きな石臼がありました。

②中通りの水車・・・「フルマート」の水車とも言うって、限一井出の近く、現在の(株)ニーズのそばの牛頸川にあったそうです。当時の碾き臼の上下が高田隆敏さんの庭に据えてあります。※次号で写真掲載させていただきます。

③花無尾の水車・・・地蔵の水車とも言うって、地蔵橋の近くにあったようですね。森山鐵男さんのお父さんが経営していました。森山さんの話だと、水城村(現大宰府市)の佐野浦(大佐野ダム一キロほど上)のおばあさんが背中に大きな玄米袋をしょって精米にきていたそうです。佐野浦からだ約五キロはあったでしょうね。

(次号に続きます)

竹田 準